

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	事業期間	開始/令和4年8月 ~ 終了/令和5年3月
------	---	-----	------------------	------	-----------------------

事業実績額 1,254,000円

事業実施所管 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係

事業の概要	[目的] 公共施設開設維持のため、必要な消耗品を購入し、新型コロナウイルス感染拡大予防を図る。	指標	配布件数		説明 ※次亜塩素酸水の配布件数を記載											
	計画値		170件													
実績値	122件															
事業の概要	[対象] 全町民 ほか	[事業の評価・効果検証] 【評価】 町民（個人・事業所）へ次亜塩素酸水の配布及び公共施設開設維持のための消耗品（抗原検査キット・ペーパータオル）の購入、備蓄をすることで新型コロナウイルス感染症拡大防止と備えの充実を図る事ができた。														
	[内容] 感染拡大予防のための必要な消耗品の購入。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>配布</th> <th>対象者</th> <th>配布回数</th> <th>配布実績</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">次亜塩素酸水</td> <td rowspan="2">全町民及び事業者</td> <td>個人</td> <td>延べ48件</td> <td rowspan="2">122件</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>延べ74事業所</td> </tr> </tbody> </table>				配布	対象者	配布回数	配布実績	累計	次亜塩素酸水	全町民及び事業者	個人	延べ48件	122件	事業所
配布	対象者	配布回数	配布実績	累計												
次亜塩素酸水	全町民及び事業者	個人	延べ48件	122件												
		事業所	延べ74事業所													
事業実施状況	[事業実績] 購入実績 消耗品 1,254,000円（抗原検査キット、ペーパータオル）	[今後の取組み] 今後においても、マスク等の消耗品等の備蓄を継続し、マスクについては、町内店舗での品薄状況が続く場合に町民への配布を検討し、次亜塩素酸水については、役場保健福祉課窓口での配布を継続し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。														
備考																

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	2	事業名	PCR検査費用補助事業	事業期間	開始/令和4年4月 ~ 終了/令和5年3月
------	---	-----	-------------	------	-----------------------

事業実施額 1,417,329 円

事業実施所管 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PCR任意検査費用の一部を補助することにより、感染拡大を防止する。	指標	2年度	3年度	4年度	説明	
			計画値	100件	124件		192件
			実績値	13件	163件		107件
事業の概要	[対象] 任意のPCR検査を受けた町民ほか	[事業の評価・効果検証]  新冠町民の無症状者又は新冠町内の事業所に勤務している従業員の陽性が確認され会社負担で実施する新型コロナウイルス感染症の判定のための任意のPCR検査の費用の一部を補助することにより、町民の心理的不安及び経済的負担の軽減及び事業所の経営継続に繋がり、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る事ができた。					
	[内容] 検査費用の2/3を補助(上限20,000円)						
事業実施状況	[事業実績] 令和2年度 創設 検査実施件数 13件 補助実績 164,300円 令和3年度 補助対象事業所拡充 検査実施件数 163件 補助実績 2,805,835円 令和4年度 補助対象事業所拡充 検査実施件数 107件 補助実績 1,417,329円	[今後の取組み] 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今後は抗原検査にて個人が対応する事となりました。家庭等において発熱等の症状がある場合は、薬局にて安価で購入可能である抗原検査キットによるセルフチェックを行うこととなった為、PCR検査費用の補助は廃止します。					
備考							

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	3	事業名	乳幼児健康診査事業	事業期間	開始/令和4年4月 ~ 終了/ 令和5年3月
------	---	-----	-----------	------	------------------------

事業実績額 489,420円

事業実施所管 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係

事務事業の概要	<p>[目的]</p> <p>乳幼児健診の実施にあたり、医師の診察が必要となることから、札幌市在住の小児科医師を委嘱し、実施日に来町して診察をしているが、来町時に使用している公共交通機関（道南バス）がコロナ禍により減便しているため、往来が困難であることから、タクシーにより移動手段を確保して、乳幼児健診を実施する。</p>	指 標		運送回数			説 明  医師の送迎回数（健診実施回数）	
			計画値	12回				
			実績値	12回				
	<p>[対象]</p> <p>乳幼児健診時の医師の送迎に係るタクシー運送</p>	<p>[事業の評価・効果検証]</p> <p>コロナ禍により公共交通機関が減便したことで、小児科医師の来町が難しくなり、乳幼児健診の実施に影響が出るところでしたが、滞りなく小児科医師の送迎が行われ、乳幼児健診を実施することができた。</p>						
	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師住宅（札幌市）から健診会場（東町生活館）の往復のタクシー運行業務委託料</li> <li>・タクシー運行時の往復の高速道路の実利用料金</li> </ul>							
事業実施状況	<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー運送料 @37,200円（往復）×12回=446,400円</li> <li>・高速道路料金(通常) @ 3,620円（往復）×11回= 39,820円</li> <li>・高速道路料金(変則) @ 3,200円（往復）× 1回= 3,200円</li> </ul> <p>※悪天候のため、高速道路一部区間通行止めにより利用区間減 合 計 =489,420円</p>		<p>[今後の取組み]</p>					
備考								

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	4	事業名	介護資格取得経費助成事業	事業期間	開始/R4年7月 ~ 終了/令和5年3月
------	---	-----	--------------	------	----------------------

事業実績額 411,638円

事業実施所管 保健福祉課保健福祉グループ福祉係

事業概要	[目的]	年度			説明	
		2年度	3年度	4年度		
事業概要	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による雇用対策として、介護従事者が不足する介護施設等への就労を促すほか、感染予防により就労環境が激務となっている介護施設等での介護従事者の離職防止対策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し「初任者研修助成事業」又は「実務者研修助成事業」に上乗せし、自己負担額の全額を助成するもの。又、町内の事業所が介護職員の資格取得経費を負担した場合についても助成対象とするもの。もって雇用の確保並びに介護施設等における介護人材の育成と定着を図り高齢者等が安心して暮らすことができる地域社会の実現に資することを目的とする。</p>	計画値	10名	10名	10名	<p>補助申請者数 (R4年度実績は個人4名、介護施設1箇所)</p>
		実績値	17名	6名	5名	
事業概要	<p>[対象]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 新冠町に住所を有している者で初任者課程又は実務者課程の受講を令和4年度中に終了した者。</li> <li>・事業者 新冠町に住所を有しない介護職員を雇用する町内の事業所で、その介護職員が初任者課程又は実務者課程の受講を令和4年度中に終了し介護職員が負担した資格取得経費を助成した事業所。</li> </ul>	<p>[事業の評価・効果検証]</p> <p>新冠町では、これまで介護施設等における慢性的な介護員不足解消のため、介護の基礎資格である介護職員初任者研修及び介護職員初任者研修の上位資格となる実務者研修受講費用に対し補助率3分の2（上限5万円）の助成を行っていた。</p> <p>令和2年度より、新型コロナウイルス感染症の拡大による離職者の就労支援並びに感染予防により就労環境が激務となっている介護施設等での介護従事者の雇用確保対策として介護資格取得経費助成事業を創設し資格取得に係る受講費用の全額を助成。</p> <p>また、令和4年度は制度拡充し、町民以外の介護職員を雇用する町内の事業所で介護職員が資格取得した軽費を事業所が負担した場合にその負担分を助成したものの。</p> <p>申請者全員が介護施設等で就労されており、介護職としてのスキルアップが図られ介護人材の定着に寄与したものと判断している。</p>				
	<p>[内容] 助成額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 受講者が負担した額から初任者研修助成事業又は実務者研修助成事業において助成した額を控除して得た額の全額とする。</li> <li>・事業所 新冠町に住所を有しない介護職員がその居住する市町村が実施する資格取得助成制度を活用し、残る自己負担額に対し事業所が負担した額。</li> </ul>					
事業実施状況	<p>[事業実績]</p> <p>実務者研修 ○申請者（個人）4名</p> <p>民間事業者（浦河町会場） 受講者1名</p> <p>民間事業者（新ひだか町会場） 受講者3名</p> <p>○申請者（施設）1事業者</p> <p>（民間事業者（新ひだか町会場） 受講者3名）</p>	<p>[今後の取組み]</p> <p>介護施設等では介護従事者の人材不足により施設運営に大きな支障を来し介護職の人材育成は行政としても危機感を持って対応すべき課題となっている。今後も介護人材の育成・定着に帰する事業実施について検討していく。</p>				
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	5	事業名	衛生材料費等購入事業	事業期間	開始/令和4年5月 ~ 終了/ 令和5年2月
------	---	-----	------------	------	------------------------

事業実績額 1,104,786円

事業実施所管 新冠町立国民健康保険診療所

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の長期化により、医療施設内の蔓延防止策を引き続き強化するため、感染対策に必要な衛生材料を購入する。	指標	4年度	年度	年度	説明 数値は院内感染者数	
			計画値	0人			
			実績値	1人			
事業の概要	[対象] 新冠町立国民健康保険診療所	[事業の評価・効果検証] 本交付金を活用し、価格が高騰する中、様々な感染対策に必要な衛生材料（消耗品）を購入し、昨年度に引き続き、購入した消耗品を活用の上、蔓延防止対策を実施し、院内でのクラスター発生を防ぐことが出来た。 町内唯一の医療機関としての役割を果たすべく、今後も引き続き施設内の感染蔓延を防ぐ努力を継続する。					
	[内容] 感染対策に必要な衛生材料(消耗品)は、全国的な需要の高まりにより、品薄状態が続き、価格も高騰しているため本交付金を活用し購入する。						
事業実施状況	[事業実績] (主な購入品目) ○ニトリル手袋    ○プラスチック手袋 ○プラスチックエプロン    ○プラスチックガウン ○ハンドソープ    ○手指消毒液    ○スプレー用消毒液  合計 1,104,786円	[今後の取組み] 新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが、2類から5類の感染症に引き下がりましたが、引き続き感染予防策を継続し、院内感染者を出すことのないよう取り組みを継続する。					
備考							

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	6	事業名	診療材料費等購入事業	事業期間	開始/令和4年5月 ~ 終了/ 令和5年9月
------	---	-----	------------	------	------------------------

事業実績額 2,198,770円

事業実施所管 **新冠町立国民健康保険診療所**

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の長期化により、今後も発熱外来の継続的な需要を見込み、受診者に対しPCR検査等を実施し、コロナウイルスの感染有無を確認する。	指標		4年度	年度	年度	説 明 数値は検査件数	〈実績内訳〉			
	計画値		200件			抗原検査		140件	-	140件	
	実績値		1,025件			遺伝子検査(NEAR法)		440件	-	440件	
								" (PCR法)	311件	134件	445件
								合計	891件	134件	1,025件
	[対象] 新冠町立国民健康保険診療所	[事業の評価・効果検証] 本交付金を活用し、コロナウイルスの感染有無を確認するための検体検査キットを購入し、受診者検査を実施。感染状況を把握することにより、町内での大規模な蔓延を防ぎ、町内全体の社会機能を維持が図られた。									
	[内容] 発熱外来受診者や濃厚接触者、自費検査等に対し必要なコロナウイルスの感染有無を確認するための検査試薬(キット)を購入する。										
事業実施状況	[事業実績] (主な購入品目) ○検査試薬 (キット)  合計 2,198,770円	[今後の取組み] 町内唯一の医療機関として、コロナウイルス検体検査を引き続き実施し、町民の安心を確保できるような体制を維持する。									
備考											

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	7	事業名	新冠町立特別養護老人ホーム恵寿荘会計繰出金事業	事業期間	開始/令和4年4月 ~ 終了/ 令和4年6月
------	---	-----	-------------------------	------	------------------------

事業実績額 210,892円

事業実施所管 新冠町立特別養護老人ホーム恵寿荘

事業の概要	[目的] コロナ禍において、新冠町立特別養護老人ホーム恵寿荘内での感染リスクを軽減させたくて入所者との面会を実施することを目的に面会用備品を購入する。	指標	4年度			説明
		計画値	2.5回 2.0回			指標は計画値、実績値ともに上段が制限付き面会の1日当たり回数、下段がオンライン面会の1日当たり回数。 なお、令和4年度中は入所定員70床から50床に移行中のため、回数は減少している。
		実績値	1.4回 1.0回			
	[対象] 新冠町立特別養護老人ホーム恵寿荘	[事業の評価・効果検証] 厚生労働省から施設入所者との面会はずなかりや交流が心身の健康に与える影響を考え、地域における発生状況等を踏まえて可能な限り安全に実施できる方法を検討することとされ、以下の備品を購入することにより面会時の改善を図ったもの。				
	[内容] 入所者面会用備品購入 非接触型カメラ付体温計 1台 パーテーション取付型会話補助システム 2台 タブレットPC 1台	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非接触型カメラ付体温計 対面距離を保ち正確な体温計測ができています。</li> <li>● パーテーション取付型会話補助システム 面会時に飛沫防止のためパーテーションにより声を遮り会話に支障をきたすことがあったが、購入後は改善できている。</li> <li>● タブレットPC 画面が小さいスマートフォンでは入所者が見ずらいため、タブレット端末に変更することにより改善できている。</li> </ul>				
事業実施状況	[事業実績] 令和4年度中の制限付き面会期間 令和4年 7月 1日～令和4年 7月22日 (15日間) 令和4年10月20日～令和4年10月21日 ( 2日間) 令和5年 2月 6日～令和5年 3月31日 (38日間) 合計55日間 ※上記期間以外はオンライン面会のみ可	[今後の取組み] 感染防止対策を徹底したうえで入所者面会の環境づくりに努める。				
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	8	事業名	感染対策輸送能力増強事業（コミュニティバス）	事業期間	開始/令和4年6月 ～ 終了/ 令和5年2月
------	---	-----	------------------------	------	------------------------

事業実績額 **11,705,840円**

事業実施所管 **企画課まちづくりグループ企画係**

	[目的] 町内の地域公共交通の維持・確保を目的とし、新冠町コミュニティバス運営事業において使用する運行車両を新たに1台購入し、運行車両を増台することで感染力が強く感染者数が増加傾向にある新型コロナウイルス感染症変異株への対策として、車内消毒のさらなる徹底化を図り、車内感染リスクの低減を図る。	指 標	輸送人員		説 明									
			計画値	17,000人		輸送人員を目標値とする。 ▶令和4年度 新冠町コミュニティバス運営事業実績								
			実績値	11,753人										
事業の概要	[対象] 新冠町民及び町外者	[事業の評価・効果検証] ・消毒作業は運行後必ず実施しているところではあるが、新型コロナウイルス感染症変異株であるオミクロン株は感染力が強く、感染者数が増加傾向であることから、車両を1台購入することで、運行車両のローテーションを組むことが可能となり、運行していない車両について、より徹底した消毒作業を実施し、車内感染リスクの低減を図っている。												
	[内容] ○新冠町コミュニティバス車両の購入													
事業実施状況	[事業実績] 《コミュニティバス購入費用内訳》	[今後の取組み] ・地域にとっては必要な交通体系であり、より良い公共交通を構築するため、新型コロナウイルス感染症対策として消毒作業等の徹底化を図る。 ・持続可能な公共交通として、利用者の安全・安心に努め、地域の足であるコミュニティバスの運行を維持する。												
	<table border="1"> <tr> <td>備品購入費：車両購入（消耗品費を含む。）</td> <td>11,044,000円</td> </tr> <tr> <td>手数料：登録諸費用等</td> <td>96,000円</td> </tr> <tr> <td>保険料：自賠責保険料</td> <td>13,240円</td> </tr> <tr> <td>その他備品購入費：オゾン発生装置整備及び取付経費</td> <td>174,900円</td> </tr> <tr> <td>公課費：自動車重量税</td> <td>3,700円</td> </tr> <tr> <td>委託料：ラッピング委託料</td> <td>374,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,705,840円</td> </tr> </table>					備品購入費：車両購入（消耗品費を含む。）	11,044,000円	手数料：登録諸費用等	96,000円	保険料：自賠責保険料	13,240円	その他備品購入費：オゾン発生装置整備及び取付経費	174,900円	公課費：自動車重量税
備品購入費：車両購入（消耗品費を含む。）	11,044,000円													
手数料：登録諸費用等	96,000円													
保険料：自賠責保険料	13,240円													
その他備品購入費：オゾン発生装置整備及び取付経費	174,900円													
公課費：自動車重量税	3,700円													
委託料：ラッピング委託料	374,000円													
合計	11,705,840円													
備考														



【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	9	事業名	感染対策輸送能力増強事業（認定こども園）	事業期間	開始/令和4年6月 ～ 終了/ 令和5年2月
------	---	-----	----------------------	------	------------------------

事業実績額 **13,860,390円**

事業実施所管 **管理課こども園グループ庶務係**

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症対策として、認定こども園の通園バス運行に係る車両1台を増車し、清掃・消毒及び三密回避を徹底しながら、感染リスクの低減を図る。	指標	4年度	年度	年度	説明
		計画値	0人			送迎時における感染者数
		実績値	0人			
	[対象] 認定こども園の園児	[事業の評価・効果検証] マイクロバス車両1台を増車することで、清掃・消毒の徹底を図ることができた。 2人乗り小型バスと比較し座席数が倍増したことにより、乗車中の三密の回避を図ることができ、車内での感染リスクの低減を図ることができた。				
	[内容] 認定こども園通園バス車両の購入 <通園バス購入費用内訳> ・需用費 スタッドレスタイヤ等附属消耗品 330,000円 ・手数料 登録諸費用等 95,340円 ・保険料 自賠責保険、共済分担金 44,850円 ・車両購入費 12,881,000円 ・その他備品購入：オゾン層発生装置整備及び取付経費 174,900円 ・公課費：自動車重量税 4,300円 ・委託料：ラッピング手数料 330,000円 計 13,860,390円					
事業実施状況	[事業実績] 車両3台により、感染症対策を実施しながら通園バスの運行を実施 ○感染症対策 ・通園バス内でのマスク着用の徹底 ・定期的な換気の実施 ・通園バスの消毒作業の実施 ・オゾン層発生装置の取付 ○保有車両 通園バス車両（マイクロバス） 定員52名（幼児49名、大人3名） 通園バス車両（マイクロバス） 定員54名（幼児51名、大人3名） 通園バス車両（ハイエース） 定員22名（幼児18名、大人4名）	[今後の取組み] 継続して感染症対策を行い、園児の安全安心な通園環境を維持する。				
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	10	事業名	修学旅行支援事業（小学校）	事業期間	開始/令和4年8月 ～ 終了/ 令和4年10月
------	----	-----	---------------	------	-------------------------

事業実績額 114,876円

事業実施所管 管理課管理グループ 学校教育係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した修学旅行を実施することによって生じる保護者の経済的負担を軽減する。	指標	4年度			説明
		計画値	0人			修学旅行実施時における感染者数
		実績値	0人			
事業実施状況	[対象] 新冠小学校児童 6年生 朝日小学校児童 6年生	[事業の評価・効果検証] 感染症対策を行うことでより参加しやすい環境を整え、保護者負担を軽減することで修学旅行を円滑に実施することができた。				
	[内容] 修学旅行支援補助金 ・新冠小学校：9月14日～15日 胆振地方 当初経費と変更後経費の差額 増減理由：行先の変更による経費の増（札幌方面→胆振方面）	[今後の取組み] 今後も感染症の状況に配慮し、事業の円滑な実施を図る。				
備考	[事業実績] ①新冠小学校：児童36名参加 補助額 114,876円 ②朝日小学校：児童 6名参加 補助額 0円 ※行先変更せずに実施したことにより補助金申請なし					

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	11	事業名	修学旅行等支援事業（中学校）	事業期間	開始/令和4年6月 ～ 終了/ 令和4年7月
------	----	-----	----------------	------	------------------------

事業実績額 666,309円

事業実施所管 管理課管理グループ 学校教育係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した修学旅行を実施することによって生じる保護者の経済的負担を軽減する。	指標	4年度			説明
		計画値	0人			修学旅行・宿泊研修時における感染者数
		実績値	0人			
	[対象] ①修学旅行 3年生 ②宿泊研修 2年生	[事業の評価・効果検証] 修学旅行、宿泊研修ともに、感染症対策を行うことでより参加しやすい環境を整え、保護者負担を軽減することで修学旅行及び宿泊研修を円滑に実施することができた。				
	[内容] ①修学旅行支援補助金 5月10日～12日 東北地方（宮城県・岩手県） 当初経費と変更後経費の差額 増減理由：バス1台から2台に変更（密の防止） ②宿泊研修支援補助金 7月12日～13日 恵庭市・小樽市 当初経費と変更後経費の差額 増減理由：バス1台から2台に変更（密の防止） ジャンボハイヤー借上（緊急対応）					
事業実施状況	[事業実績] ①修学旅行：生徒46名 補助額 353,280円 ②宿泊研修：生徒47名 補助額 313,029円	[今後の取組み] 今後も感染症の状況に配慮し、事業の円滑な実施を図る。				
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	12	事業名	教育情報環境整備事業	事業期間	開始/令和4年4月 ~ 終了/ 令和5年3月
------	----	-----	------------	------	------------------------

事業実績額 703,733円

事業実施所管 管理課管理グループ学校教育係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症対策としての学校休校発生時等における子ども達の学びの機会を保障するため、ICT機器操作支援業務の推進、機器活用促進を目的とした研修会に係る講師の招聘、休校等におけるルーター貸出に係る通信環境整備を行う。	指標		2年度	3年度	4年度	説明 学習環境の整備率 計画 小中学校3校
	計画値		100%	100%	100%		
	実績値		100%	100%	100%		
[対象] 新冠町立小中学校	[事業の評価・効果検証] ICT機器を整備することにより、通常の授業における活用、さらに、災害や感染症発生等による学校の臨時休校等緊急時においても、機器の活用によりすべての子どもたちの学びを保障できる環境を構築できた。 一方、整備された機器を有効に活用するためには、授業におけるICT機器の利用、機器の設定・操作等、関連する業務が必要となるが、講師招聘や業務委託を実施することで、円滑に行うことができた。 また、ICT機器を活用した遠隔授業の実施に向け必要な機器を整備することでICT環境の整備が図られた。						
[内容] ・ICT機器活用支援講師謝礼 1回 40,000円 ・モバイルルーター通信運搬費 12か月 178,633円 ・ICT機器の操作支援及び設定作業委託料 12か月 485,100円 合計 703,733円  令和2年度に各小中学校に導入したタブレットやICT機器の有効活用を図るための支援やプログラミング教育研修を行うほか、導入機器の新たな活用に対する操作支援や不具合が発生した際の迅速な対処を図るため機器管理業務を委託した。 また、新型コロナウイルス等により休校となった際には、児童生徒の学びの機会を保障するためのオンライン学習を行うこととし、家庭にWi-fi等の通信機器を有しない世帯には学校から通信可能なモバイルルーターの貸出を行うためのSIMカードの借上げを行った。	[今後の取組み] 今後も感染症対策、学習環境の整備を行ったうえで教育活動を継続する。						
事業実施状況	[事業実績] 令和2年度より教育情報環境整備事業を開始						
備考							

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	13	事業名	新冠小学校プール改修工事	事業期間	開始/令和4年4月 ~ 終了/ 令和4年7月
------	----	-----	--------------	------	------------------------

事業実績額 1,276,000円

事業実施所管 管理課管理グループ学校教育係

事業の概要	[目的] 学校プール出入口に敷設する床マットについては、新型コロナウイルス感染症対策のため利用学年ごとに次亜塩素酸水による消毒作業を実施しているが、床マットの消毒作業に時間を要し、教育活動に支障が生じていることから、床マットを撤去し、モルタル仕上げにすることで消毒作業の効率化と新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。	指標	4年度		説明 プール利用時における感染者数
	計画値		0人		
	実績値		0人		
事業実施状況	[対象] 新冠小学校プール	[事業の評価・効果検証] 改修工事を実施し、日常の衛生・消毒の徹底を図ることで感染症対策に寄与することができた。			
	[内容] 小学校プールサイド床改修（面積：103.46㎡） ・既存ゴムマット撤去 ・下地補修、不陸調整 ・防水モルタル仕上 ・プール用防滑塗装				
備考	[事業実績]	[今後の取組み] 今後も感染症対策、学習環境の整備を行ったうえで教育活動を継続する。			

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	14	事業名	高度無線環境通信基盤エリア拡大事業	事業期間	開始/令和4年10月 ~ 終了/ 令和5年3月
------	----	-----	-------------------	------	-------------------------

事業実績額 7,421,800円

事業実施所管 企画課まちづくりグループ企画係

事業の概要	[目的] 国の高度無線環境整備通信事業で整備した東泊津地区において、未整備エリアに当町の基幹産業である軽種馬産業の牧場の進出が見込まれることから、光ファイバ網を整備し、このことにより、コロナ禍で海外渡航が厳しい中においても、インターネットを介して海外の市場（馬の購入）への参加・購入が可能となり、基幹産業である軽種馬産業の活性化と情報通信基盤を活用した経営戦略の構築を図ることが可能となる。	指標	加入件数	説明	
			計画値	500	
			実績値	514	
事業の概要	[対象] 新冠町東泊津地区、朝日地区	[事業の評価・効果検証] ・加入件数も増加していることからエリア拡大は一定の効果があったものと評価している。今後もエリア拡大後の加入件数の推移を検証しながら、加入促進に努めていくこととする。			
	[内容] エリア拡大に伴う光通信基盤の整備				
事業実施状況	[事業実績] 整備費用 7,421,800円 光ケーブル延長 L=1,028m	[今後の取組み] 加入件数の促進を図るとともに、その後の利活用方法についても、検証を行い、ICTの利活用方策についても様々な角度から検討していく。			
備考					

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	15	事業名	感染症対策救急輸送体制構築事業	事業期間	開始/令和4年5月 ～ 終了/令和4年12月
------	----	-----	-----------------	------	------------------------

事業実績額 34,738,000円

事業実施所管 日高中部消防組合消防署新冠支署

事業の概要	[目的] 現在、消防署新冠支署で保有している高規格救急自動車での新型コロナウイルス患者搬送時は、養生シートによる応急的な感染防止対策での対応をしていることから救急隊員、医療従事者等の感染リスクが高く、傷病者等からの二次感染リスクを最小限に止めるべく、運転室と患者室を隔てる隔壁を装備し、陰圧式患者搬送器具により飛沫の拡散を防止、また、オゾン発生装置を装備することにより、車内活動中の空気清浄及び救急活動後の車内除菌を行うことで、安全な救急医療体制を構築することを目的とする。	指標	4年度	年度	年度	説明	
			計画値	0人			
			実績値	0人			
事業の概要	<p>[対象] 日高中部消防組合消防署新冠支署</p> <p>[内容] 備品：高規格救急自動車（令和4年度製トヨタ/救急資機材含む）1台 34,738,000円</p>		<p>[事業の評価・効果検証] 新型コロナウイルス感染症患者等を搬送する際、当車両に装備された、運転席側と患者室側を隔離する扉を活用し、救急隊員との接触を最小限に止め、感染リスクの軽減及び、陰圧式患者搬送器具の使用によりウイルスの車内拡散を抑え、更にオゾン発生装置により搬送中の車内空気清浄を行い、搬送後の救急車内や資機材を除菌し次なる救急事案に備え、消毒作業の時間短縮を図ることができました。</p>				
事業実施状況	<p>[事業実績] 令和4年11月24日納車 事業費実績 34,738,000円</p>		<p>[今後の取組み] 感染リスクを最小限に止めるべく、当該装備を積極的に活用し安全な救急活動から質の高い救命処置が提供できるよう努めます。また、搬送後にあつては当該装備を活用したことにより、スピーディーな救急車内及び救急資機材の消毒作業が期待でき、更なる救急事案に備え迅速な体制を整えられるよう努めます。</p>				
備考							

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	16	事業名	新冠町観光振興協力事業	事業期間	開始/令和4年6月 ~ 終了/令和4年7月
------	----	-----	-------------	------	-----------------------

事業実績額 1,214,410円

事業実施所管 社会教育課社会教育グループ社会教育係  
企画課まちづくりグループ商工労働観光係

	[目的]	指標	2年度	3年度	4年度	説明
			計画値	実績値	実績値	
	<p>コロナ禍のため2年連続で中止としていた、町内最大規模の講演会「プラスワンセミナー」の講師に、一般社団法人ロコ・ソラーレを招聘し、例年と比較してもこれまで以上に著名な方を招聘することで、停滞気味な町民の学習機会を創出するほか、これに合わせて町内観光施設の利用や発信の協力に係る契約を締結し、コロナ禍で利用者が停滞する町内観光施設のPRを広く推進し、町の観光振興と活性化を図る。</p>		300名	300名	400名	<p>指標はプラスワンセミナー来場者数</p> <p>【参考】</p> <p>ホロシリ乗馬クラブ来場者数 (R4.7~9) 3,298人 (前年同期比 1,247人増)</p> <p>新冠温泉入館者数 (R4.7~9) 39,006人 (前年同期比 3,830人増)</p>
事業の概要	[対象]		[事業の評価・効果検証]			
	[内容]		<p>◎プラスワンセミナー</p> <p>北京オリンピック銀メダリストのロコ・ソラーレが講師という事で話題性が高い一方、彼女たちを一目見たいという芸能人的な要素が強くなることが懸念されたが、テーマに沿った内容で講演が進められ、充実した内容であった。入場者にアンケート調査をしたところ、回収率も高く、講演の満足度では大変満足73.2%、満足24.7%を合わせると97.9%という結果となり、好評であったと判断できる。コロナにより3年ぶりのプラスワンセミナーで入場者数制限を設けずに行えたことで、町民に活気が戻る事業となった。</p> <p>◎観光振興事業</p> <p>新型コロナが比較的落ち着いた、5類に移行したタイミングもあり、観光入込者数やホテル利用者数が増加していることや、SNS発信の反響を期待していた、吉田知那美選手が急病によりキャンセルとなってしまったことで、結果的に施設側からのみの発信に留まり、数値的な検証が難しいところであるが、ホテルヒルズでは投稿のリアクションも多く、利用者もサインを見ての反響も大きかったことから、利用者に対する施設の価値は間違いなく向上しているとの回答を得た。また、テレビ取材やインターネットニュースにも掲載されたため、町の情報発信効果も大きかったと感じている。</p>			
事業実施状況	[事業実績]		[今後の取組み]			
	<p>◎プラスワンセミナー</p> <p>入場者：458名 出演者：藤沢五月、吉田夕梨花、鈴木夕湖、石崎琴美/司会 國分明子 ※吉田知那美 体調不良により欠席</p> <p>◎観光振興事業</p> <p>温泉施設への宿泊・乗馬クラブの利用 SNSによる情報発信</p>		<p>◎プラスワンセミナー</p> <p>町独自の「REの精神」に繋がる生涯学習機会の提供の一つとして、多様なニーズ (RE-request) を踏まえたテーマの設定や講師の選定を行ない今後も開催していく。</p> <p>アンケート (RE-request) ではスポーツ、音楽、芸能、文化芸術など、著名人講師を希望する声が多かった学習機会の目的達成度合いを検証した上で、幅広い年齢層に興味・関心を持たせる講演会事業を展開していく。</p> <p>◎観光振興事業</p> <p>SNSなどのデジタルコンテンツを活用した情報拡散や広報活動は、観光振興に有用であることが改めて認識できたことから、観光振興施策の重要な取り組みとして取り組んで行く。</p>			
備考						



【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	17・18 26	事業名	新冠町原油価格・物価高騰対応分支援給付金	事業期間	開始/令和4年8月 ～ 終了/ 令和5年2月
------	-------------	-----	----------------------	------	------------------------

事業実績額 **50,269,452円**

事業実施所管 **町民生活課町民生活グループ社会係**

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・物価高騰等による影響を緩和し、家庭への負担軽減を図るため全町民に対して支援するもの。	指標	年度	年度	4年度	説明 給付人数
			計画値		5,122人	
			実績値		4,949人	
事業の概要	[対象] 令和4年6月1日時点で新冠町に住所を有する者。	[事業の評価・効果検証]  対象者へのダイレクトメールによる周知のほか、未支給者に対する文書や電話・訪問による申請の呼びかけを行ったことにより高い支給率に繋がった。				
	[内容] 給付見込額：51,220千円 基準日時点の人口は5,214人となっているが、教育委員会で実施していた学生応援給付金との重複を避けるため、92人を減じて5,122人としている。 給付金額：1人あたり1万円 事務費：1,312千円 事務費内容：消耗品費（コピー用紙等）、印刷製本費（封筒等） 通信運搬費（郵便料等）、手数料（振込手数料等） 給付期間：令和4年8月15日～令和5年2月28日					
事業実施状況	[事業実績] 給付人数：4,949人 事業費 49,490,000円 事務費 779,452円 合計 50,269,452円	[今後の取組み]				
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	19	事業名	町外学生等応援給付金事業	事業期間	開始/令和4年8月 ~ 終了/令和5年2月
------	----	-----	--------------	------	-----------------------

事業実績額 1,440,000円

事業実施所管 管理課管理グループ学校教育係

事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の影響が長く続き、学生等については制限された中で の学生生活が続き、コロナ禍における原油価格や物価高騰による家計の急変など、 仕送りとアルバイト収入で生活する学生にとっては大きな打撃となっていること から、親元を離れ町外に居住する学生等に対し、応援の意味合いを込めて給付金を 支給し、経済的負担の軽減を図ることを目的とする。	指標	2年度	3年度	4年度	説 明		
			計画値	100%	100%		100%	指標は給付率とする。 給付者数/申請者数
			実績値	100%	100%		100%	
事業の概要	[対象] 町外に居住する学生等（高校生、高等専門学校生、短期大学生、大学生、大学院生、 専修学校生又は各種学校生）	[事業の評価・効果検証] 事業実施にあたり、対象者の把握が困難で申請もれをどのように防ぐかが課題であったが、町HPや広報誌への掲載のほか、申請者に同級生への周知や友人・知人への声掛けを依頼するなど、可能な限り制度周知し対応した。 令和2年度は感染が再拡大したことから、2回の給付を行い、令和3年度は1回給付を行ったが、給付後、学生や保護者の方からお礼や感謝の声が多数届き、事業効果は大きいものと評価している。						
	[内容] 近隣市町村には大学等がなく、高校も少ないため、進学する場合は必然的に町外で生活することとなり、親の仕送りとアルバイトで生計を立てている学生がほとんどである。コロナ禍における原油価格や物価の高騰は学生生活に多大な影響を及ぼしていることから、学生への応援の意味合いを込め、1人あたり10,000円の給付金を支給する。  ○給付金 1人につき10,000円							
事業実施状況	[事業実績] ・令和2年度 1人 30,000円×2回 申請者数：151名 申請受付期間 1回目：6/2～12/1、2回目：1/8～3/1 ・令和3年度 1人 30,000円 申請者数：152名 申請受付期間 9/24～12/20 ・令和4年度 1人 10,000円 申請者数：144名 申請受付期間 8/12～12/20	[今後の取組み] 今後も感染症の状況に配慮し、必要な事業を実施する。						
備考								

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	20	事業名	新冠町プレミアム入浴券発行事業	事業期間	開始/令和4年8月 ~ 終了/令和5年3月
------	----	-----	-----------------	------	-----------------------

事業実績額 3,375,000円

事業実施所管 企画課まちづくりグループ商工労働観光係

事業の概要	[目的] コロナ禍において原油高や物価高騰の影響を受けている町民生活を支援し、さらに重油高の影響を強く受けている町内唯一の温泉施設の利用を促進させることを目的にプレミアム入浴券を発行する。	指標	4年度		説明		
			計画値	100%			入浴券の販売率
			実績値	79.8%			
事業の概要	[対象] 新冠温泉利用者	[事業の評価・効果検証] プレミアム率50%の回数券事業は本来、販売側の負担が大きく、継続して実施することは難しいが、地方創生臨時交付金を活用して実施することができ、温泉施設の利用促進に繋げることができた。 販売率については、100%を達成できなかったが、利用期限付きで販売したため、想定より販売率が伸びなかった。					
	[内容] 入浴券発行部数 600冊 発行及び販売については新冠温泉レ・コードの湯の指定管理者である北海道ホテル&リゾート株式会社を運営主体として実施する。 入浴券は30枚綴りを1セットとして額面15,000円を10,000円で販売する。						
事業実施状況	[事業実績] 実施期間 令和4年8月～令和5年2月 事業主体 新冠温泉 ホテルヒルズ（北海道ホテル&リゾート株式会社） 販売部数 479冊（発行部数 600冊） 利用枚数 12,958枚（利用率 90.2%）	[今後の取組み] 同種の事業を継続して実施することは難しいが、新冠温泉の利用促進に向け、指定管理者側とその方策については協議検討を行っていく。					
備考							

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	21	事業名	スクールバス車両購入事業	事業期間	開始/令和4年8月 ～ 終了/令和5年3月
------	----	-----	--------------	------	-----------------------

事業実績額 12,189,840円

事業実施所管 管理課管理グループ学校教育係

事業の概要	[目的] 町内児童生徒の通学送迎を目的に実施しているスクールバス運行事業において使用する車両を大型化することで、車内の密解消を図り、新型コロナウイルス感染症防止対策を強化する。	指標	4年度		説明 送迎時における感染者数													
	計画値		0人															
			実績値	0人														
事業の概要	[対象] 小中学校児童生徒（スクールバス通学者）	[事業の評価・効果検証] 児童生徒数の減少に伴い、スクールバス利用者についても減少しているが、現状は各地区の様々な場所（停留所から次の停留所までの距離がある等）から児童生徒が乗車しているため、限られた車両で運行経路を変えるなど、工夫し対応していることから、ハイエース車両については満員の状態となっている。各車両でマスク着用、手指消毒、できる限り間隔を開けた乗車など、感染症対策を講じているが、乗車人数により行き届かない車両もあるため、車両の大型化により密解消を図ることは、児童生徒の感染症対策に大きな効果があったと考える。																
	[内容] 現在、保有しているハイエース車両（10人乗り）は乗車児童数が9名と、満員の状態となっているため、コロナ禍における児童生徒の登下校の感染症対策として、車両をマイクロバス（29人乗り）にサイズアップし、車内の密解消を図るもの。  ○スクールバス購入車両：マイクロバス（29人乗り）																	
事業実施状況	[事業実績] 《スクールバス購入費内訳》	[今後の取組み] 今後もスクールバス乗車中の感染症対策に留意しながら、環境整備を図る。																
	<table border="1"> <tr> <td>需用費：スタッドレスタイヤ等付属消耗品</td> <td>354,884円</td> </tr> <tr> <td>手数料：登録諸費用等</td> <td>96,000円</td> </tr> <tr> <td>保険料：自賠責保険料</td> <td>13,240円</td> </tr> <tr> <td>車両購入費</td> <td>11,547,116円</td> </tr> <tr> <td>その他備品購入費：オゾン発生装置整備及び取付経費</td> <td>174,900円</td> </tr> <tr> <td>公課費：自動車重量税</td> <td>3,700円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,189,840円</td> </tr> </table>	需用費：スタッドレスタイヤ等付属消耗品	354,884円	手数料：登録諸費用等	96,000円	保険料：自賠責保険料	13,240円	車両購入費	11,547,116円	その他備品購入費：オゾン発生装置整備及び取付経費	174,900円	公課費：自動車重量税	3,700円	合計	12,189,840円			
需用費：スタッドレスタイヤ等付属消耗品	354,884円																	
手数料：登録諸費用等	96,000円																	
保険料：自賠責保険料	13,240円																	
車両購入費	11,547,116円																	
その他備品購入費：オゾン発生装置整備及び取付経費	174,900円																	
公課費：自動車重量税	3,700円																	
合計	12,189,840円																	
備考																		

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	22	事業名	新冠町ホースカード事業	事業期間	開始/令和4年9月 ~ 終了/令和5年3月
------	----	-----	-------------	------	-----------------------

事業実績額 5,000,000円

事業実施所管 企画課まちづくりグループ商工労働観光係

事業の概要	[目的] コロナ禍で落ち込んだ観光客の誘客、また原油・物価高騰により落ち込んでいる消費行動を喚起するため、新冠町産のGI馬等のホースカードを製作し、町内の小売・飲食店等に配布し、お店での買物や飲食で利用した際にカードを無料で提供する。また、商工会が実施している商業活性化事業（セール・ザ・にいかっぶ事業）と連動させ、町民の消費行動を刺激し、町内経済への波及効果を高める。	指標	4年度	年度	年度	説明		
			計画値	100%				カードの引換率を指標とする。
			実績値	100%				
概要	<p>[対象] 商工会に加盟している事業所、町の観光施設、観光協会 ※参加事業所については、セール・ザ・にいかっぶ事業との連動を高めるため、参加希望を募って参加店を確保する。</p> <p>[内容] 新冠町産のGI馬や繋養馬等のホースカード（トレーディングカード）を作成し、事業参加店に配布。（36頭のカードを20,000枚作成。） お客さんが買物や飲食した際に、カードを1枚進呈。（1,000円につき1枚）さらに商工会が実施している商業活性化事業（セール・ザ・にいかっぶ事業）と連携した形で実施し、より消費喚起を促す内容で実施する。</p>		<p>[事業の評価・効果検証] 新冠町商工会実施したアンケート結果によると参加店の約7割はホースカード事業について満足したとの回答であった。事業の実施時期や実施方法については、改善の余地はあるが、継続してほしいとの声も多かった。 新冠町観光協会が参加者に対して行ったアンケート（回答者526件）によると、回答者の約4割が地元（日高管内）、約2割が道内、約4割が道外からの回答者であり、競馬ファンだけではなく、地元への波及効果もあったものと推察できる。</p>					
事業実施状況	<p>[事業実績] 参加事業所 34店/28事業者 配布期間 令和4年11月～12月 事業費 6,638,547円（補助金 5,000,000円） 事業主体 新冠町商工会</p>		<p>[今後の取組み] 毎年の継続事業として実施することは難しいが、日高管内各町との連携や様々な主体との連携を検討し、より効果的な事業の実施方法について検討したい。</p>					
備考								

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	23	事業名	福祉灯油支給事業	事業期間	開始/R4年11月 ~ 終了/令和5年3月
------	----	-----	----------	------	-----------------------

事業実績額 **3,522,508円**

事業実施所管 **保健福祉課保健福祉グループ福祉係**

事務事業の概要	[目的] 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、家庭で過ごす時間が増加する中、灯油価格が高騰し暖房費の負担が増している為、低所得の高齢者世帯等へ灯油購入経費の一部を助成し、生活の安定を図ることを目的とする。		4年度			説 明
		計画値	350			支給世帯数
		実績値	349			
	[対象] 令和4年12月1日現在で町内に住所を有する町民税非課税世帯（生活保護世帯を除く）で、かつ次の①～③の何れか1つの要件に該当する世帯。 ①高齢者（65歳以上）のみの世帯 ②障害者手帳（身障・療育・精神）の交付を受けている世帯。 ③ひとり親家庭等医療費受給者証の交付を受けている世帯。 （施設入所者及び長期入院者を除く）	[事業の評価・効果検証] 350世帯の交付見込で予算措置していたところ、374世帯より申請を受け、この内349世帯へ灯油券を交付。町政事務委託文書等での周知により、概ね見込通りの交付世帯数になると共に、前回実施時(R3年度)の交付世帯数344世帯より5件増加となる。  【周知方法】 ・町政事務委託文書（2回） ・介護保険事業所からの周知依頼 ・町ホームページ掲載  【交付内訳】 高齢者世帯 309世帯 障がい者世帯 20世帯 ひとり親世帯 20世帯 合計 349世帯 ※対象要件に重複あり、高齢>障がい>ひとり親の優先順位で対象を区分 ※非該当者25件のうち、19件は課税世帯。				
事業実施状況	[事業実績] ・福祉灯油支給費 3,432,000円（349世帯×1万円。（未使用額58,000円）） ・消耗品費 9,680円（灯油券作成用カラー用紙、周知用チラシ用紙） ・通信運搬費 80,828円（特定記録郵便により灯油券郵送） 合計 3,522,508円	[今後の取組み] 今後も灯油価格の推移を注視し、事業の実施について判断していく。				
備考						

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	24	事業名	新冠町農林水産業物価高騰対策支援金	事業期間	開始/令和4年11月 ～ 終了/令和5年2月
------	----	-----	-------------------	------	------------------------

事業実績額 **28,600,000円**

事業実施所管 **産業課産業グループ畜産係**

事業の概要	[目的] 今般のコロナ禍において、エネルギーや物価高騰により大きな影響を受けている町内の農林水産業者に経営に必要な飼料や肥料、燃料、生産資材等の購入費用を支援することを目的とする。	指標	4年度	年度	年度	説明		
			計画値	270戸				支給戸数
			実績値	229戸				
事業の概要	[対象] 農林水産業を営んでいる者のうち、町内に主たる事業所、事務所を置く法人及び町内に住民票を置く個人事業主。  [内容] 1 事業所に10万円を支給する。ただし、酪農及び肉用牛においては配合飼料等の高騰など影響がさらに大きいことから20万円とする。 ①軽種馬140戸、耕種54戸、組合外5戸、豚及び鶏3戸、林業2戸、漁業9戸 計213戸×@100千円＝21,300千円【当初算定】 ②酪農27戸、肉用牛30戸 計57戸×@200千円＝11,400千円【当初算定】 合計(①+②)＝32,700千円【当初算定】					[事業の評価・効果検証] 長引くコロナ禍において、エネルギーや生産資材等の価格高騰は事業者の経営を圧迫し、関係団体からも支援を求められていた。事業を実施することにより、一過性ではあるものの町内農林水産業者を支援する一助につながった。		
事業実施状況	[事業実績] ◆申請受付期間 令和4年11月1日～令和5年1月31日 ◆申請事業者内訳 ○酪農 27件 5,400,000円【@200,000円】 ○肉用牛 30件 6,000,000円【@200,000円】 ○軽種馬 111件 11,100,000円 ○耕種 47件 4,700,000円 ○養豚及び養鶏 3件 300,000円 ○林業 2件 200,000円 ○漁業 9件 900,000円 合計 229件 28,600,000円					[今後の取組み] 交付金等の財源があれば、今後も積極的に活用して本事業を実施致したい。		
備考								

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

令和4年度事業実施状況及び効果検証に関する資料

事業No	25	事業名	新冠町出産・子育て支援交付金	事業期間	開始/令和5年2月 ~ 終了/ 令和5年3月
------	----	-----	----------------	------	------------------------

事業実績額 2,200,000円

事業実施所管 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係

指 標	支給率		説 明
	計画値	100%	
	実績値	100%	
<p>[目的] コロナ禍において、妊娠時から出産・子育てまで一貫して身近で相談対応に応じ、様々なニーズに即した必要な支援に繋ぐとともに、経済的支援を一体的に実施する事で、コロナ禍にあっても妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備を図る。</p>			<p>対象者への支給率</p>
<p>[対象] 妊娠の届け出をした妊婦又は出生した乳幼児を養育する者で、申請時に町内に住所を有する者。</p>	<p>[事業の評価・効果検証] 妊娠時から出産・子育てまで一貫して身近で相談対応に応じるとともに、経済的支援も併せて実施することで、安心して出産・子育てができる環境を構築することができた。</p>		
<p>[内容] 特に支援が必要な0歳から2歳の低年齢期に焦点をあてて、妊娠届出時や出産後に面談やアンケート調査を実施するとともに、その後のプッシュ型の情報発信・相談の随時受付等の継続実施を通じ、必要な支援等に繋げていく。</p>			
<p>事業実施状況</p>	<p>[事業実績] 【出産応援給付金】 妊娠届出時に経済的支援として、現金5万円を支給する。 ○対象 28人×50,000円/人=1,400,000円 【子育て応援給付金】 出産届出時に経済的支援として、現金5万円を支給する。 ○対象 16人×50,000円/人= 800,000円</p>		<p>[今後の取組み] 子育て支援のために継続的な実施及び給付金の支給を行っていく。</p>
備考			